

令和6年度 胎内市立中条中学校 学校経営方針

1 教育目標 「考える」

2 学校経営ビジョン

(1) 生徒に育みたい5つの資質・能力

- 1 自分の思いや考えを伝える力
- 2 見通しをもち、筋道立てて考える力
- 3 言葉で人とかかわる力
- 4 相手を尊重しようとする態度
- 5 粘り強くやり遂げようとする態度

(2) めざす学校の姿

「生徒が育つ、支持的・意欲的な学校」

→ 生徒の成長を支援し、教育活動に向かう学校

- 生徒とともに教職員も成長する学校
- 教職員も生徒も互いに学びに向かう仲間として尊重する学校
- 子どもが育つことに喜びを感じる地域と一体感のある学校

(3) 今年度の重点

「生徒が主体となる授業づくり」「支持的な環境づくり」

3 具体的実践事項

(1) 授業づくりの充実

- ① 子どもの学びを軸に授業を設計する単元デザイン
パフォーマンス課題（学期に1回以上）から逆向き設計
「深い学びの技法」（県中教研）の活用、
- ② 活用できる学習ログ（スタディログ・学習履歴）の蓄積
- ③ 授業を始める前に、生徒と共有する評価方法
- ④ 単元の開始前に、教科部で共有する評価テスト
- ⑤ 自動採点、テスト作成システム等の活用
- ⑥ 年間を通して、50分の授業時間を確保し、学力保障を図る。

(2) 習得と活用を往還し、探究する総合的な学習

(3) 自他を大切に合意形成する特別活動の充実

(3) かかわる同和教育の視点に立つ「傾聴と共感」の実践

(5) 社会への自立をめざし、多様な生徒の学び方を受容する適応指導体制

(6) 厚い基礎的環境整備で、誰にでも学びやすい環境の構築

(7) 一人一人に寄り添う柔軟な視点をもった、合理的配慮の提供

4 学び続ける中条中教職員

(1) 変化に対応し、謙虚に学び、自分自身の教育観を再構成する教職員

(2) 相手に伝わる言葉やあいさつで自他を大切に示す姿勢を示す教職員

(3) 過程を大切に、計画、実践、修正しながら実践を繰り返す教職員

(4) 来校者（地域・保護者、業者）へ丁寧に対応し、地域連携を実現する教職員

(5) 互いに声をかけ合い、非違行為を根絶する教職員